

安全作業手順書【防護柵取替工】

作成日・ 改正日	2025/04/01 (前回改正：2024/04/01)	現場名	東名高速道路(豊田IC～春日井IC) 名古屋第二環状自動車道 (名古屋IC～筑島北IC,有松IC～上社JCT)
機器工具 ・車両	ブレーカー、スコップ、抜柱機、ピックハンマー、 清掃用具一式、小型移動式クレーン	保護具	ヘルメット、安全チョッキ、安全くつ 保護メガネ、切削作業用手袋、軍手、皮手袋

可能性(A)	見積もり基準とした危険性の評価			
	重大性(B)	○ 軽微 (不休と休業3日以内)	△ 重大 (休業4日以上)	× 極めて重大 (死亡・障害が残る)
○ ほとんど起こらない (5年に1回程度)	○ ○ (極めて小さい)	○ △ (かなり小さい)	× ○ (中程度)	
△ たまに起こる (1年に1回程度)	△ ○ (かなり小さい)	△ △ (中程度)	△ × (かなり大きい)	
× かなり起こる (6ヶ月に1回程度)	× ○ (中程度)	× △ (かなり大きい)	× × (極めて重大)	

危険性又は、有害性の評価と危険度の判定基準例			
危険性の見積り	危険性の評価	危険度	判定
× × ×	極めて重大	5	即座に対策が必要
× ×、△ ×	かなり大きい	4	根本的対策が必要
× ○、△ △、○ ×	中程度	3	何らかの対策が必要
△ ○、○ △	かなり小さい	2	現場点検は必要なし (補注参照)
○ ○	極めて小さい	1	対策の必要なし

作業区分		作業手順・作業内容		急所		危険ポイント (～なので～になる)		リスクの見積り			安全対策 (危険度2以下へ) (私達はこうする)			リスクの再見積り						
								(A)	(B)	リスク				(A)	(B)	リスク				
準備工	作業確認	作業の打合せ(KY)を行なう		作業員全員で		手順を間違えて思わぬケガをする		△	×	4	全員で手順書、KYの内容を周知する			○	○	1				
		作業員の役割(運転手、助手)を決める		免許証・免許区分の確認を運転手・助手の二人で行って		免許区分の理解不足で、無免許運転をしてしまう		○	×	3	乗車時に必ず免許区分明示車両灯かを確認する			○	△	2				
		作業場所及び車線を確認する		上下、kp等の情報を踏まえ、作業員全員が理解できるように		/		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/			
		交通規制状況を確認する		必ず当日の規制簿を使用して		/		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/			
		使用機械、工具等の点検を行う		作業前に		作業中に機械が故障し、思わぬケガをする		△	×	4	作業前に必ず道具、工具、機械の点検を行う			○	○	1				
		しらすんだーの動作確認及び点検を行う		朝礼時に作業員全員で毎日動作確認をする		電池切れで緊急時、逃げるのが遅れる		△	×	4	毎日動作確認をし、電池が減ったら交換する			○	○	1				
		調査工		破損状況・ケーブル埋設状況を作業前に事前に調査する		事前調査をする場合は調査手順書に則って		調査手順書に則る												
		車両確認																		
		作業車両準備																		
		作業車両点検																		
本作業	出発準備	出発		 セーフティーバイブル		25.車両回送手順書に則る														
		規則内進入																		
		車両移動																		
		停止																		
		進退防止																		
		使用機器等				車両から必要機械を降ろす		①手袋などを着用して ②手・指挟まれに気をつける。声かけ、合図をして		①荷台から飛び降りて怪我をする ②手・指が挟まれて怪我をする		△	△	3	無難な搬出はせず、サイドカバー・タイヤ等安全な足場から車両に正対して昇降する。飛び降らない。			○	△	2
		準備工				取り替える支柱に印をつける		チョーク等を使用して		/		/	/	/	/			/	/	/
		防護柵撤去				破損した既設防護柵を撤去する		①レールの脱け返りに注意して ②外す時は作業員同士で声を掛け合い ③変形の強みでレールが脱けそうな場合は、レバーで固定し		ボルトの緩みに気づかず、跳ね返ったレールで負傷する		△	△	3	二人以上で取り外しを行い、職長は防護柵全体の様子を確認する			○	△	2
		試掘及び立会				埋設物の確認を試掘に行い、立会いを受ける		試掘がある場合は試掘作業手順書に則って		試掘作業手順書に則る										
		支柱撤去				破損した既設防護柵支柱を撤去する		クレーン又は抜柱機を使用して		無資格者がクレーンを操作し、事故を起こす 抜柱機に手を挟み抜柱する		△	×	4	職長は必ず作業員全員の資格取得状況を把握し、資格所有者は資格証を必ず持参すること 操作者は周囲の作業員が離れたことを確認してから操作を行う			○	○	1
								○	×	3	小型移動式クレーン作業手順書に則る			○				○	1	
支柱取付		新規の支柱を元の支柱穴に取り付ける		引き抜き穴に埋設物がないことを確認して		/		/	/	/	/			/	/	/				
		取り付けた支柱の高さ、水平位置を確認する		前後の既設支柱を基準にして		/		/	/	/	/			/	/	/				
		新規の防護柵を取り付ける		クレーン操作に伴う荷の揺れに十分気を付けて		クレーンで吊った荷が振れ、走行車や作業員に接触する		△	△	3	機械作業監視員を必ず配置し、状況に応じて介錯ロープ等を使用する			○	○	1				
		ボルト、ナットの締め付けを確認する		前後の既設支柱周りも忘れずに		/		/	/	/	/			/	/	/				
仕上げ		発生材や道具を片付ける		車線側、他の作業員等十分周りに注意して		片付け作業やクレーン操作作業が重複し		△	△	3	職長は必ず場内全体を監視し、全体の動きを指示しながら片付けを行う			○	○	1				
		清掃道具で場内清掃を行う		車線側への飛散に十分気を付けて		掃き掃除やブロワー使用の際、走行車に気づかず		△	△	3	職長は必ず場内全体を監視し、警笛等を用いて合図をしながら清掃する			○	○	1				
		場内状況及び清掃状況を確認する		使用道具や、検測道具など忘れ物の無いように		/		/	/	/	/			/	/	/				
本作業	現場離脱及び		25.車両回送手順書に則る																	
	降着																			
	駐車		25.車両回送手順書に則る																	
	後処理		運転日報・車両使用日報を作成する		責任者への報告・確認も忘れずに		/													
特記	1人作業		原則1人作業はしない。やむ終えず1人作業をする場合は現地にてKYを実施し、作業員同士目のつく範囲内で作業を行う。尚且つもしもの時の連絡体制を事前に構築しておく。																	
	パワーゲートを使用し荷台積み下ろし		パワーゲートを使い荷台にバルーン等を積み下ろし作業をする時は、積載物の落下またはゲート昇降による手の挟まれ、スライダバーの延伸による足挟まれに注意すること		①パワーゲートを昇降させるときは必ず声を掛け合図を行い、手・足が挟まれないことを確認し安全を確保してから昇降させる。 ②バルーン等のタイヤロックを外す時は、必ず声を掛け合図を行い、保持を確認して安全を確保してからロックを外すこと		声掛け合図を怠り、積載物またはゲートに手足をはさまれて怪我をする		○	×	3	パワーゲートを使用する際は必ず2人以上で作業をし、ゲートの昇降をする場合は声を掛け合い挟まれないように安全を確保してから昇降させる。			○	○	1			
	台車を使用する場合		台車を使い小運搬を行う時は、台車の進退による車両等への接触に注意すること		台車は自動ストッパー機能付とする		台車から離れた瞬間に台車が逸走し走行車両と接触する		△	△	3	使用しない時は裏向きにし、Gr外側など走行車両から逃い位置に仮置き。強風の場合はウェイトを置く。			○	○	1			